



年頭の挨拶

あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人岩手県トラック協会高橋会長をはじめ会員の皆様には、日頃から国土交通行政の円滑な推進に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、輸送秩序の確立に関する取り組みとともに、事故防止、環境保全活動等、公益性を持った積極的な活動を展開されております。

さらには、依然として収束を見ない新型コロナウイルス感染症により社会不安が増大し、傘下会員も不安を抱えるなか、強い使命感を持ち、日々、感染防止対策を講じながら、最前線で国民生活、経済活動を支えるためにご尽力されておりますことに、心から敬意と感謝を表する次第であります。

さて、内閣府が発表しました令和4年11月の月例経済報告によりますと「景気は、緩やかに持ち直している。先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」との基調判断がなされていますが、トラック業界を取り巻く環境は、ウクライナ情勢などの影響による原油価格の高騰や、以前からの課題である長時間労働の改善や運転者の確保など、依然として厳しい状況が続いているものと認識しております。

このような状況の中、トラック業界の皆様におかれましては、強い自覚と責任感により、日々、人々の暮らしと経済を支える極めて公共性の高い重要な役割を担っているものと理解しているところです。

国土交通省としては、運輸事業の「安全・安心の確保」「物流の効率化」「環境対策の推進」を優先課題として取り組むほか、運輸安全マネジメントによる安全意識の高揚や、長時間労働の抑制に向けた取り組み、標準運賃の周知等を進めて参ります。

また「事業用自動車総合安全プラン2025」に基づく岩手県のトラック事業者における事故削減目標としまして、令和7年までに飲酒運転0件、死者2人以下、人身事故件数39件以下と掲げ、この目標達成に向けた重点施策への対応、各種会議や新規事業者講習会の開催、さらに「大型自動車の車輪脱落事故防止」の強化策としまして「走る前、左後輪点検キャンペーン」を展開するなど具体的な事故防止対策にも取り組んで参ります。

東北運輸局では、官民の問題意識の共有や課題解決に向けた協働のきっかけとなるよう「東北地方の今後の運輸・観光に関する基本構想」を策定しました。

安全・安心の確保、地方公共交通の活性化、観光交流の拡大、人材確保と生産性の向上の4つを柱としており、更にコロナにより変化した社会を踏まえた取り組むべき施策、DX、カーボンニュートラルを加味して取りまとめており、各方面での議論の一助としていただければ幸いに存じます。

（「東北地方の今後の運輸・観光に関する基本構想」は、東北運輸局ホームページにて紹介しています。

<https://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/index.html>）

岩手運輸支局といたしまして、引き続き、輸送の安全・安心の確保や働き方改革の実行のための取り組みを推進し、「規制の適正化」「事業者が遵守すべき事項の明確化」「標準的な運賃の周知」「荷主対策」など、貴協会をはじめ関係機関・関係団体との連携を強化しながら積極的に取り組んで参りますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人岩手県トラック協会と会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



東北運輸局 岩手運輸支局
支局長 渡辺 正幸